

特集

安来で過ごす夏休み キャンプで楽しい思い出を

7月といえば夏休み。子どもたちはもちろん、夏休みのない大人たちにとってもどこか開放感があり、遊びに行きたくなる季節です。

とはいえ、コロナ禍で県外など遠方へ行くのはまだ避けたいと思う人もいるのではないのでしょうか。そこで市内で腰を据えて遊ぶことのできるキャンプをテーマに施設を紹介します。宿泊を伴う体験は、近場だと逆に経験が少ないのでは。この機会に市内でキャンプを体験してみませんか。

引き続き新型コロナウイルス感染症対策をした上で、夏の思い出を作りましょう。



設備

炊飯棟（炊事用台、炉（かまど）、

事前に予約をお願いします）

利用料 無料（ご利用の際は、

利用者30人程度まで利用可能）

緑地広場（テント10張、同時利



キャンプ場

します。

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

しいです。海水浴や花火は

してはいけません。海岸に広が

る砂浜では水遊びや砂遊びが楽

十神山なぎさ公園



（安来町）

イチオシ



整備された遊歩道が登山道から中海沿いをつなぎます。木々が日差しを遮る十神山内と中海から吹く風で涼やかな沿岸は、夏場の散策にもぴったり。距離は3.5 kmあり、歩きごたえ十分です。



予約・問い合わせ

時15分

Tel 23-33321

土木建設課（平日8時30分～17

用可能です）

る研修等で利用する場合のみ利

分）、水鳥観察ハウス（団体によ

コインシャワー（100円／5

です（予約時にご確認ください）

ため管理人滞任時のみ利用可能

以下の設備は管理棟内にある

流し台、洗面台）、トイレ



3

山佐ダムキャンプ場やまびこ



(広瀬町上山佐)

山とダム湖の間に位置する山佐ダムキャンプ場。ダム湖側の第1・第2キャンプ場は、静かにゆったり過ごしたい少人数、ソロキャンプにおすすめ。朝の澄んだ空気でリフレッシュできます。賑やかに楽しく過ごしたいファミリー、友人グループでのキャンプには山側の第3キャンプ場と臨時キャンプ場A・B区画のつながった3区画がおすすめです。広々としたスペースは開放感があり、見通しの良い中で遊ぶことができます。さらに去年、臨時キャンプ場を見下ろす位置にキャンプスペースが追加され、よりのびのびと楽しむことができます。ポニーもいます。



ポニーもいます

イチオシ

敷地内の体験交流施設でそば打ち体験ができます(10人以上の予約で利用可能)。自分たちで打ったそばをその場で食べる貴重な体験を試みませんか。



予約・問い合わせ

山佐ダム体験交流施設管理組合
Tel 080-5623-9734



設備

コテージ、流し台、トイレ、シャワー室、薪(1束500円)、そば打体験場(要予約)、広間(要予約)



キャンプ場

6区画(車の乗り入れ可能区画は臨時キャンプ場A・B区画以外の4区画)
利用料 1人につき200円

初心者でも安心！ キャンプのポイント

キャンプの一般的なポイントをまとめています。「キャンプはしてみたいけど何を準備したらいいんだろう?」そんなときはこちらをご参照ください!

キャンプ場の選択

キャンプ場ごとに特色があり、設備も異なります。

テントの設置スペースと駐車スペースが別にあるキャンプ場と車の乗り入れができるキャンプ場があります。

区画が定まっておらずスペース内で自由にキャンプする場所を決めることができるキャンプ場もあります。混雑時はまず場所を決めるのに時間が必要なもの。夏のキャンプシーズンや連休などにキャンプするときは、余裕を持ったスケジュールで予定を立てておきましょう。

コテージのあるキャンプ場も多くあります。準備物が多くないコテージで宿泊するのも楽しいですね。

必要な道具

市内のキャンプ場では用具の貸し出しはしていませんが、キャ

ンプ場によっては貸し出しのある用具や設備を利用できます。事前に確認しておきましょう。

テント

キャンプで真っ先に思い浮かぶテント。種類が豊富にあるため、まず使用人数と形で絞り込みましょう。ドームタイプのは設営が簡単です。テントを固定するペグ(杭)やロープもセッティングになっているか確認しておきましょう。

ペグハンマー

ペグを固定するとき、片付けるときに便利です。



グランドシートとインナーマット

テントと地面の間に敷くのがグランドシート、テントの内側に敷くのがインナーマットです。テントとセットの場合もあります。インナーマットで就寝時の快適さがかなり変わります。

寝袋

イメージしやすい楕円形の寝袋以外にも、布団のような感覚で使える封筒型のものもあります。収納しやすさ、季節、気温で選びましょう。

テーブルとチェア

キャンプ以外でも利用できるため、持っていて無駄にはなりません。



バーベキュー棟（炭焼きテーブル、流し台、ピザ窯、コテージ、研修センター（体育館、宿泊設備付き研修室）



現在休止中（夏期に向け再開予定）



上の台緑の村はイザナミの陵墓である比婆山付近の標高330mの頂にあります。東は大山、北は安来市街や中海・島根半島、天候に恵まれた日には境港・日本海まで眺めることのできる見晴らしのよい立地で、豊かな自然、ヒツジなど動物とのふれあい、スポーツ、グルメと多目的に楽しむことができます。



上の台緑の村

（伯太町赤屋）

キャンプのシーズンは夏と言われているますが、1年を通して楽しみ方はさまざまあります。花見を楽しむ、紅葉を楽しむ、たき火を使った温かい料理を楽しむなど、季節に応じてキャンプを満喫してみませんか。

イチオシ



上の台ではバーベキューを手間いらずで楽しめます。炭焼きテーブルは備え付けであり、食材を準備してもらうこともでき（要予約）、気軽にアウトドアを楽しみたい人にぴったりです。ピザ窯での料理も可能です。

予約・問い合わせ
上の台緑の村
Tel 38-00022

ランタンと懐中電灯

キャンプ場の夜はかなり暗くなります。テント用と移動用で複数持っておきましょう。

食材、調味料、調理器具、食器、洗剤

火を使うときに、革手袋、着火剤やうちわ、火ばさみ、があると便利。バケツに水を準備しておくこともお忘れなく。使用済みの炭や灰の処分方法について事前に確認しておきましょう。

初心者にはお湯を沸かす道具だけでできるレトルト食品もおすすめです。キャンプは楽しめることが1番です。

後片付けの洗剤、スポンジは

忘れがち。環境に優しい洗剤を選び、洗う前に汚れはキッチンペーパーなどで拭き取っておきましょう。使い捨ての容器を使うという手もあります。

着替え、衛生用品

濡れたり汚れたりするので着替えは多めに用意しましょう。ウエットティッシュやペーパータオルもあると便利です。

ゴミ袋

必須です。汚れ物などいろいろ出てくるので少し多めに持っておきましょう。ゴミ捨てはキャンプ場のルールに従い、マナーを守って楽しいキャンプを！

アウトドアに、普段使いに 鍛鉄フライパン「鍛月-TAN GETSU-」

たたら歴史に関わりの深い広瀬町布部で、鍛造技術を継承し続ける「鍛冶工房弘光」。ここで作られた鉄製の燭台や行燈といった製品はふるさと納税の返礼品にもなっています。

今年3月よりクラウドファンディングの通信販売で好評だったフライパン「鍛月-TAN GETSU-」は、8月中旬頃に一般への販売を予定しています。

「鍛月」は鍛鉄という鉄を叩いて形を作る技法で職人が丁寧に製作しているため、完成までに時間がかかります。その分頑丈で熱伝導率が良いという特徴があります。どんな料理でも活躍しますが、特に肉料理はきれいな焦げ目でふっくらジューシーに、片付けはたわしで洗うだけの洗剤いらずです。持ち手が曲がった「MAGE」はアウトドアで、刀の柄のようなカバーが持ち手についた「TUKA」は普段使いで人気です。

